

墨田区のお知らせ2014.2.21 NO.1738 (毎月1日・11日・21日発行)

# すみだ

発行：墨田区(広報広聴担当) 公5608-1111代表 〒130-8640墨田区吾妻橋一丁目23番20号

2つの矩形が寄り添うシンボルは、墨田区在住・在勤者、企業やNPOなどと、区および区職員との協働・協治を表すものです。

- 2面以降の主な内容
- 2面…緊急速報メール(エリアメール)の配信訓練
- 3・4面…講座・教室・催し・募集

すみだと全国の旬間歳時記

●2月25日：「いっしょにネット」が開設した日  
平成19年のこの日、すみだ地域応援サイト「いっしょにネット」が開設した。このサイトでは、「つながってまちづくり・ひとづくり」をコンセプトに、区内で活動する様々な市民団体・地域団体などの活躍を紹介している。

<http://www.city.sumida.lg.jp/>

## 山崎区長が施政方針を説明

平成26年第1回区議会定例会において、山崎区長が26年度の区政運営の基本的な考え方を示す施政方針説明を行いました。26年度は、墨田区基本計画の後期5か年の後半に入ることから、「東日本大震災を教訓に、安全で安心して暮らせるまちづくり」をはじめとする3つのリーディングプロジェクトを中心に、基本計画に掲げた事業の実現に向け、積極的に取り組むとした施政方針の要旨をお知らせします。



### 平成26年度の区政運営の基本的な考え方

#### ■大地震等に耐えうる災害に強いまちづくりの推進

災害に強いまちづくりに向け、現在、見直しを行っている墨田区地域防災計画に基づき、即効性の高い防災対策を推進します。

#### ■社会保障制度改革の方向性を視野に入れた福祉施策の推進

少子高齢化の進行等に対応した社会保障制度改革の方向性を見据え、その柱となる「少子化対策」、「医療・介護」等の分野において、地域の福祉ニーズに沿った施策を展開します。

#### ■東京スカイツリー®効果を十分に活かした区政全般の活性化

東京スカイツリーに加え、オリンピック・パラリンピック競技大会の東京開催の効果を十分に活かすため、観光・産業・雇用・まちづくり等の様々な施策を重層的に推進します。

#### ■行財政改革への取組

行政ニーズに適切に対応するため、公共施設の再編に着手するとともに、健全財政の確保に努めます。

### 重点的に取り組むリーディングプロジェクト

#### 1 東日本大震災を教訓に、安全で安心して暮らせるまちづくり

▶燃えない・壊れないまちづくり＝「防火・耐震化改修促進事業」の効果を高めるため、対象地域の拡大等を検討します。また、「木密地域不燃

化10年プロジェクト」で、不燃化特区に選定された「京島周辺地区」と「鐘ヶ淵周辺東地区」の防災まちづくりを推進します。▶防災対策＝固定系無線システムのデジタル化に着手するほか、防災地図を改訂し全世帯に配布します。また、一時集会場所に指定されている公園等へ、停電時に避難誘導できる「ソーラー照明付き園名板」と「ソーラー園内灯」を2年計画で設置します。

#### 2 子育て環境が整備され、高齢者を地域で見守るまちづくり

▶高齢者福祉＝民間の社会福祉法人が計画している特別養護老人ホームへの整備助成を行うほか、旧木下川小学校用地に特別養護老人ホームを誘致し、その事業者を選定します。また、住宅の段差等について改修助成の手續を緩和します。▶子育て支援＝私立認可保育所の整備支援やグループ家庭的保育室、定期利用保育などの拡充による定員増を図り、27年4月の待機児童「ゼロ」をめざします。また、第四吾妻小学校に学童クラブ分室を整備します。

#### 3 東京スカイツリーを中心に、多数の人々にぎわう、国際観光都市づくり

▶観光施策＝観光情報サイトの多言語化を進め、観光情報の収集・発信と国際化への対応を強化します。また、舟運観光の促進のため、おしなり公園船着場に観光情報の発信機能を備えた待合所を整備します。さら

に、観光客の区内回遊を促すため、まち歩きコースを紹介するイベント等を展開します。▶観光とものづくりを融合するための施策＝「3 M 運動」30周年を記念するイベントの開催や「小さな博物館」・「工房ショップ」を巡る観光ルートを構築します。また、「すみだ地域ブランド戦略事業」を継続し、ものづくりの魅力発信を推進します。さらに、「両国駅周辺地区観光まちづくり」を具体化するための仕組みづくりに取り組みます。

### 基本計画の施策体系別の主要事業に取り組みます

▶「すみだ」らしさの息づくまちづくり＝すみだ北斎美術館の26年度中の着工をめざすとともに、建築・運営資金の一部に充てるため「墨田区北斎基金」を設置し、寄付金を募ります。▶快適に暮らせるまちづくり＝京成曳舟駅前東第三地区の施設整備と、曳舟たから通りの拡幅整備を進めます。また、28年度末の完成に向けて京成押上線の高架化を着実に進めるほか、東武伊勢崎線第2号踏切の鉄道立体化については、27年度の都市計画決定をめざして概略設計等を進めます。▶産業振興対策＝地域内事業承継のための支援を行うほか、営業力強化や販路開拓の支援を行います。また、区内にある空き工場などを「新ものづくり創出拠点」として再生するための助成も継続します。▶障害者福祉＝福祉作業所等で就労している障害者の工賃向上につなげるため、デザイ

ン事業者等を活用し、自主生産品の開発や改良に取り組みます。▶教育環境の整備＝吾妻第二中学校の改築や、全小学校のガラス飛散防止を計画的に実施します。また、習熟度別少人数の補習「すみだチャレンジ教室」を通年教室として、土曜日に開催します。さらに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを活用して、いじめの根絶を図ります。▶環境＝旧文花小学校校舎を活用した「すみだ環境ふれあい館」の実施設計に着手します。また、省エネルギー対策として、区道照明灯のLED化を、おおむね5年計画で進めます。▶区民と区の協働によるすみだづくり＝今年15周年を迎える「すみだ やさしいまち宣言」においては、小・中学生を対象に「おもてなし」の心を育むための取組を進めます。さらに、旧鐘淵中学校用地に整備予定の陸上競技場の基本計画を策定します。また、大学誘致については、国際化への対応も視野に入れ、早期の決定をめざします。

### 25万人都市すみだの都市経営を推進

区政を取り巻く社会経済状況は刻々と変化しており、予断を許さない状況が続いています。こうした中でも、山積する課題を克服し、25万人都市すみだの都市経営を推進するために全力を傾けていきます。

区民の皆さんの、区政に対するさらなるご支援・ご協力をお願いします。

【問合せ】政策担当 公5608-6231